

薬学研究科

薬学研究科では、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、創薬・製薬および医療薬学の知識と技術を継承するとともに、志気と向上心を持ち、高い倫理観と責任感を備え、薬学への見識のある人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む行動力、社会の多様性を理解できる能力、協調性をもった次のような人を求めています。

【博士前期課程】

博士前期課程では、創薬・製薬に関心を持ち、専攻分野に関する研究を通じて社会に貢献する意欲のある者で、未知の課題に対し自ら研究計画を立案でき、問題解決能力・研究推進能力を備えた国際的に通用する研究者および薬学教育者を目指す人を求めています。

●求める人物像

- ・創薬・製薬研究を学ぶために必要な専門的知識と論理的思考を備え、明確な問題意識をもって研究を進める能力に加え、専門的な職業に従事できる高度な能力を修得しようとする人
- ・創薬・製薬研究の専門家として、修得した知識・教養を基盤に思考を深化、展開し、科学的根拠に基づいて未知の課題に対して適切な解法を見いだせる素養を有する人
- ・世界に通用する研究成果の発信を通じて、地域の発展や医療の深化・発展のために貢献しようとする人

【博士後期課程】

博士後期課程では、創薬・製薬を中心に生命科学全般に関心を持ち、高い倫理観と責任感をもって独創的な研究を推進し、これを通じて創薬・製薬研究の発展に貢献する意欲のある者で、未知の課題に対し自立して研究を遂行し世界に向けて成果を発表するとともに後進を指導する能力を修得しようとする次のような人を求めています。

●求める人物像

（知識・技能、関心・意欲）

- ・創薬・製薬研究に関わる未知の課題を解決するために必要な、薬学の広範な知識・技能を有する人
- ・創薬・製薬研究に関わる広範な領域に強い関心とそれらの学びに対する意欲があり、独創的な研究を推進し、これを通じて創薬・製薬研究の発展に貢献しようとする姿勢・態度を有する人

（思考力・判断力・表現力等の能力）

- ・創薬・製薬研究の専門家として、修得した専門知識及び教養を基盤に思考を深化、展開し、科学的根拠に基づいて未知の課題に対して適切な解法を見いだせる素養を有する人
- ・自分が伝えたいことを適切かつ簡潔に、相手の視点に立って表現できる人

（主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度）

- ・創薬・製薬研究の専門家として、他分野の人と協働でき、活躍できる素養を有する人

【博士課程】

博士課程では、生命科学に関心を持ち、高い倫理観と責任感をもって臨床に根ざした先端的研究能力を有する臨床薬剤師を志望する者、高度な職能を持つ専門薬剤師を志望する者、そして医療薬学研究者を志望する者で、未知の課題に対し自立して研究を遂行し国際的に通用する pharmacist-scientist を目指すとともに、後進を指導する能力を有する医療系薬学教育者への能力を修得しようとする意欲のある次のような人を求めています。

●求める人物像

(知識・技能、関心・意欲)

- ・薬学部で習得すべき基礎的かつ広範な知識や技能及び教養を有する人
- ・薬剤師免許を有する人、もしくは取得する可能性のある人
- ・生命科学を主体とする薬学に関わる広範な領域に強い関心と、医薬品の適正使用及び薬物治療の安全性確保に貢献する意欲を持ち、自ら未踏分野を開拓しようとする姿勢・態度を有する人

(思考力・判断力・表現力等の能力)

- ・薬物療法の専門家として、習得した知識・技能を基盤に、思考を深化、展開し、科学的根拠に基づいて未知の課題に対して適切な解法を見いだせる素養を有する人
- ・自分が伝えたいことを適切かつ簡潔に、相手の視点に立って表現できる人

(主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度)

- ・薬物療法の専門家として、他職種の人と協働でき、活躍できる素養を有する人
- ・チーム医療を推進できる協調性を有する人

薬学研究科 創薬科学専攻 博士前期課程 【修士(薬科学)】

創薬科学専攻では、生命科学に根ざした創薬・製薬に関心を持ち、専攻分野に関する未知の課題に対し自ら研究計画を立案でき、主体的に課題に取り組むことで、問題解決能力・学際的な研究推進能力を備えた国際的に通用する研究者および薬学教育者の育成をめざしています。

●求める人物像

(知識・技能、関心・意欲)

- ・創薬・製薬研究を学ぶために必要な、薬学の広範な知識・技能を有する人創薬・製薬研究に関わる広範な領域に強い関心とそれらの学びに対する意欲があり、自ら未踏分野を開拓しようとする姿勢・態度を有する人

(思考力・判断力・表現力等の能力)

- ・創薬・製薬研究の専門家として、習得した知識・教養を基盤に思考を深化、展開し、科学的根拠に基づいて未知の課題に対して適切な解法を見いだせる素養を有する人自分が伝えたいことを適切かつ簡潔に、相手の視点に立って表現できる人

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

- ・創薬・製薬研究の専門家として、他分野の人と協働でき、活躍できる素養を有する人

●入学者選抜の基本方針

<一般入試>

出願書類により知識・技能、関心・意欲、態度を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・判断力・表現力を評価します。これらの結果を総合して判定します。

<社会人特別入試>

出願書類により知識・技能、関心・意欲、態度を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・判断力・表現力を評価します。これらの結果を総合して判定します。

<外国人留学生特別入試>

出願書類により知識・技能、関心・意欲、態度を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・判断力・表現力を評価します。さらに志望する研究室分野の研究概要に対する知識と見識を筆答させ、これらの結果を総合して評価します。

薬学研究科 創薬科学専攻 博士後期課程 【博士（薬科学）】

創薬科学専攻では、博士前期課程創薬科学専攻の方針に加え、創薬・製薬に関する未知の課題に対し自立して研究を遂行し、世界に向けて成果を発表するとともに後進を指導する能力を有する者の育成を目指しています。

●求める人物像

(知識・技能、関心・意欲)

- ・創薬・製薬研究に関わる未知の課題を解決するために必要な、薬学の広範な知識・技能を有する人
- ・創薬・製薬研究に関わる広範な領域に強い関心とそれらの学びに対する意欲があり、独創的な研究を推進し、これを通じて創薬・製薬研究の発展に貢献しようとする姿勢・態度を有する人

(思考力・判断力・表現力等の能力)

- ・創薬・製薬研究の専門家として、修得した専門知識及び教養を基盤に思考を深化、展開し、科学的根拠に基づいて未知の課題に対して適切な解法を見いだせる素養を有する人
- ・自分が伝えたいことを適切かつ簡潔に、相手の視点に立って表現できる人

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

- ・創薬・製薬研究の専門家として、他分野の人と協働でき、活躍できる素養を有する人

●入学者選抜の基本方針

<一般入試>

出願書類により知識・技能、関心・意欲を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し、思考力、判断力、表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

<社会人特別入試>

出願書類により知識・技能、関心・意欲を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し、思考力、判断力、表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

<外国人留学生特別入試>

出願書類により知識・技能、関心・意欲を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し、思考力、判断力、表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

<モンゴルと ASEAN 諸国における国際高度医療人育成プログラム特別入試>

日本国政府奨学金により、徳島大学大学院（医学、医科栄養学、保健科学、口腔科学、薬学）研究科において博士号の取得を目指す外国人で、指定の国籍を保有し新たに海外から留学を希望する者を対象に実施します。直近過去2年間の学業成績係数が 2.30 以上で十分な英語能力（英語能力証明書を提出）を有することが条件となり、採用は徳島大学からの推薦に基づき文部科学省が決定します。

<統合医療学際教育英語プログラム私費外国人留学生特別入試>

本プログラムでは 21 世紀における世界的課題である人間環境、栄養、保健、医療の分野における諸問題に対応できるように、世界の各国で活躍できる教育・研究者及び行政の専門家を育成することを目的として、医学、栄養学、保健学、歯学、薬学に関する講義・実習・セミナーを全て英語で行います。入学選抜は、提出された書類に基づき行います。

薬学研究科 薬学専攻 博士課程 【博士（薬学）】

薬学専攻では、生命科学に関心を持ち、高い倫理観と責任感をもって臨床に根ざした先端的研究能力を有する臨床薬剤師を志望する者、高度な職能を持つ専門薬剤師を志望する者、そして医療薬学研究者を志望する者で、未知の課題に対し自立して研究を遂行し国際的に通用する pharmacist-scientist を目指すとともに、後進を指導する能力を有する医療系薬学教育者への能力を修得しようとする意欲のある次のような人を求めています。

●求める人物像

（知識・技能、関心・意欲）

- ・薬学部で習得すべき基礎的かつ広範な知識や技能及び教養を有する人
- ・薬剤師免許を有する人、もしくは取得する可能性のある人
- ・生命科学を主体とする薬学に関わる広範な領域に強い関心と、医薬品の適正使用及び薬物治療の安全性確保に貢献する意欲を持ち、自ら未踏分野を開拓しようとする姿勢・態度を有する人

（思考力・判断力・表現力等の能力）

- ・薬物療法の専門家として、習得した知識・技能を基盤に、思考を深化、展開し、科学的根拠に基づいて未知の課題に対して適切な解法を立案できる素養を有する人
- ・自分が伝えたいことを適切かつ簡潔に、相手の視点に立って表現できる人

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

- ・薬物療法の専門家として、他職種の人と協働でき、活躍できる素養を有する人
- ・チーム医療を推進できる協調性を有する人

●入学者選抜の基本方針

<一般入試>

出願書類により知識・技能、関心・意欲を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し、思考力、判断力、表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

<社会人特別入試>

出願書類により知識・技能、関心・意欲を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し、思考力、判断力、表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

<外国人留学生特別入試>

出願書類により知識・技能、関心・意欲を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し、思考力、判断力、表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

<モンゴルと ASEAN 諸国における国際高度医療人育成プログラム特別入試>

日本国政府奨学金により、徳島大学大学院（学医学、医科栄養学、保健科学、口腔科学、薬学）研究科において博士号の取得を目指す外国人で、指定の国籍を保有し新たに海外から留学を希望する者を対象に実施します。直近過去2年間の学業成績係数が 2.30 以上で十分な英語能力（英語能力証明書を提出）を有することが条件となり、採用は徳島大学からの推薦に基づき文部科学省が決定します。

<統合医療学際教育英語プログラム私費外国人留学生特別入試>

本プログラムでは 21 世紀における世界的課題である人間環境、栄養、保健、医療の分野における諸問題に対応できるように、世界の各国で活躍できる教育・研究者及び行政の専門家を育成することを目的として、医学、栄養学、保健学、歯学、薬学に関する講義・実習・セミナーを全て英語で行います。入学選抜は、提出された書類に基づき行います。